

わ げん あい ご 和顔愛語

2015
VOL.19

真生会富山病院だより



「スマイルリクエスト」
第2回は、緩和ケア内科
河相覚医師、長久栄
子緩和ケア認定看
護師、山崎由香薬
剤師がゲスト出演
し、緩和ケアにつ
いてわかりやすく、
ていねいに語りか
けました。



中国・大連医科大学と医療技術交流
の協力関係書に調印
連携をスタート

真生会富山病院は、中国・大連医科大学と医療
技術の交流を進めることになり、同大学の
谷教授と夫人の王如口腔外科教授が
来院され調印式が行われました。



富山県民会館分館 薬種商の館
金岡邸で健康講演会

館奈保子アイセンター長が講師を務め「目の予防と
健康 今が大切」と題して講演。
目の機能や白内障手術などを紹介し、目の病気
の予防と早期発見、早期治療の大切さをわかり
やすく話しました。



院内スタッフ対象の講演会開催

京都大学肝臓移植外科・臓器移植医療部准教授 海道利実先生、射水
市民病院 麻野井英次院長、博多市みらいクリニック内科医 今井一彰先
生ら、院外から第一線の先生方を招いて講演会が行われ、院内にいな
がら、最新の知識を身につけることができました。



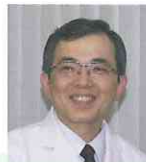
館奈保子アイセンター長が
大連医科大学の客員教授
に任命

当アイセンター長、館奈保子医師が大連医科大学の客員教授に任命さ
れることになり、授与式が行われまし
た。今回の客員教授の任命と協力
関係の調印により、中国の眼科医と
連携しながら、日中双方の眼科医療
の発展に力を尽くしていきます。



医療の情報発信

緩和ケア内科開設



緩和ケア内科医師
かわい さとる
河相 覚



緩和ケア認定看護師
ながひさ えい こ
長久 栄子

情熱の白衣

真生会富山病院

院長 真鍋 恭弘

●インタビュー

フロアマネジャー

ふくだ あや
福田 綾

さいとう みよ
齋藤 美世

たかもり
高森 まどか

Interview 13

笑顔の多さと 思いやりの心。

私たちは、利他の精神を大切に、安心、安全を支える思いやりの心、笑顔あふれる病院をめざし、患者さんのニーズにお応え、地域医療に貢献します。

福田●院長になられて、真生会を今後どのような病院にしていきたいとお考えでしょうか。

院長●いつも思っているのは、「真生会を笑顔のあふれる病院にしたい」ということです。医療とは、まず「患者ありき」で、病む人があって私達、医療従事者があります。病む人がなければ医療ありません。医療の主人公である患者さんが私達の医療を受け、どれくらい満足されたのか、ということが大切です。患者さんの安心・満足の度合いを笑顔の多さと考え、笑顔を生み出す医療を目指しています。このたび基本方針を見直し、5つ目の方針として「患者の皆様と共に笑顔のあふれる病院を目指します」と加えました。

元女 患者さんに笑顔になつていただくためには、私たち職員はどのようなことに心がければよいのでしょうか。

院長●笑顔の主は患者さんですが、患者さん

の笑顔の前には職員の笑顔がなければなりません。職員の笑顔とは、仕事の充実感から出てくる笑顔であり、医療という仕事にやりがいと誇りを持って生まれる自信にあふれた笑顔です。良質の医療とは、そのような患者、職員双方の笑顔を生み出す医療ではないでしょうか。皆さんは仕事をしていて、どういう時にやりがいを感じますか？

自分のことより、相手を思う心

高森●やはり、患者さんに「ありがとう」と言葉をかけてもらったとき、すごくうれしく感じます。

院長●そうですね。認められたとき、必要とされたとき、貢献を実感できたときにやりがいを感じますね。やりがいと同時に、特に大切なのは思いやりの心です。病む人にどれだけ思いをかけているか、自分のことより、まず相手

真生会富山病院理念

仏法に説かれている「自利利他」の精神に基づいて安心と満足の医療を目指します。

基本方針

- 一、患者本位の医療を実践します。
- 一、24時間救急診療体制をとり、住民の皆様の健康と生命を尊重する病院組織を築きます。
- 一、各科の特徴を活かし、安全で良質な医療を提供できるよう努めます。
- 一、在宅療養を全科往診、チーム医療で支援します。
- 一、患者の皆様と共に笑顔のあふれる病院を目指します。



真鍋恭弘 まなべやすひろ

真生会富山病院 病院長

●インタビュー

フロアマネジャー

高森 まどか 齋藤 美世 福田 綾

フロアマネジャーは、おもに総合受付と内科・眼科受付の周辺で受診のサポートをするスタッフです。ご来院の皆様を笑顔でお迎えし、受付方法のご説明、各科・各検査室へのご案内、車いすの方の介助など、院内で快適に、安心して過ごしていただけるよう努めています。
午前中はフロア所属の看護師がお話を伺う「相談窓口」も設けています。
(9時～11時30分)さまざまな方とコミュニケーションがとれるよう手話や語学も勉強中!どうぞお気軽に声をかけください。



の幸せを思う心、これを利他の精神と言ひ、真生会富山病院がもつとも大切にしている精神です。これこそが笑顔の源であると思います。

高森 ●当院の理念にある「自利利他の精神」ですね。4月のフレッシュセミナー(新人研修)で、私も理念について学び、体を通して表現するトレーニングをしました。

院長 ●そして、やりがいを持つて働くには「仕事を楽しむ」ことです。仕事を楽しむためには、「夢」を持ちましょう。「私の夢は何だろう?今年の目標は決めたけれど」という人があるかもしれません。夢と目標の関係は、「自分の希望を形にしたものが夢、その夢を叶えるために立てるものが目標」と考えています。夢は5年以上先、できるだけ長い期間をかけて目指すものの方が大きな希望を与えてくれます。夢を持ち、目標を立てたなら、自分の目標に向かい誠実に歩むこと、それが成長となります。

医療の質を高め、必要とされる医療

齋藤 ●院長先生の「夢」とはどのようなものでしょうか。

院長 ●まず、これから4年間、2018年に向けて、次のような病院を目指していきます。

一、射水市を住みよい街とするために地域との信頼関係を築き、急性期と回復期をしっかり担える地域包括ケア拠点病院を目指します。

一、魅力ある真生会にするためにダントツの強みを持つて広範囲から

患者やスタッフを集められる病院を目指します。

一、みんなが幸せになるために職員が生き生きと働き、みんなの笑顔があふれる病院を目指します。

大切なことは本当にこの地域で必要とされる医療を行わなければならないということです。これだけ地域に密着していながら、あまり必要のないことをしては地域の方が困ります。しかし、必要とされる医療を行っていても、通っても治らないとか、行ったらけれど、対応が悪くて、もう行く気がしないとならないよう、医療の質も高めて行かねばなりません。

当院は病院となつて、まだ15年に満たない若手病院ですが、大きな特徴は、夜7時までの外来診療、全国でも稀なアイセクター、また医師、看護師、リハビリスタッフによる在宅医療です。入院病床数は99で、連携医療機関のご協力により7対1看護の急性期体制を維持しています。日本が超高齢社会に突入し、医療界全体が大きな変革を余儀なくされている中、この病院がどのように地域医療に貢献できるのか、ニーズに敏感に対応し、本当に望まれる病院に常になつて行かねばなりません。しかし、提供する医療体制がどのように変わつても、利他の精神を大切にし、笑顔のあふれる病院をつくるのが院長としての私の夢です。

福田 ●私たちも患者さんのニーズを敏感にキャッチできるよう、アンテナを高くしてフロアに立ちたいと思います。ありがとうございました。



南太閤山コミュニティセンターの健康づくり講演会
「耳の健康」をテーマに講演会が開かれ、「耳の健康の基本は、体の健康。大切なのは元気で長生きすること」と長生きの秘訣などと呼ばけ掛けました。



フレッシュセミナー(新人職員研修)
入職した職員を対象に、医療人として、笑顔あふれる病院をめざし、よりよい医療サービスを提供できるよう話しました。



エフエムいみず
「真生会富山病院スマイルリクエスト」公開生放送にゲスト出演して笑顔で過ごす大切さを伝えました。



谷教授ご夫妻を囲んで懇親会
真生会富山病院と医療技術交流を進めるために来院された、中国・大連医科大学の谷照斌(グザオビン)教授と夫人の王如口腔外科学教授を囲み、大野屋で懇親会を開き親睦を深めました。

緩和ケア内科

緩和 和ケアとは、重い病気を抱える患者とその家族のさまざまな苦しみを和らげ、より豊かに生きることを支えてゆく援助のことです。診断早期からの緩和ケアにより、生活の質の向上のみならず、治療効果をあげ、延命にもつながります。多くの方は、緩和ケアの対象はがん患者、更には終末期のがん患者であると思っておられるようですが、実際は、生命をおびやかす治るのが難しい病気を



緩和ケアにまつわる専門スタッフが、患者さんと家族のさまざまな苦しみを和らげ、元気になってもらえるよう努めています。

そこで、当院では平成26年4月に緩和ケア内科を新設し、緩和ケア専門外来（予約制）を始めました。がんなどの重い病気の患者を、主治医と連携して、緩和ケア担当医と緩和ケア認定看護師と専任薬剤師が、診察、治療の副作用対策、痛みなどの症状緩和、鎮痛剤やオピオイド薬（医療用麻薬など）の服薬指導や、治療法や療養場所等の意志決定の支援を行っています。一人当たり20〜30分の診療時間を確保し、病状の緩和のみならず、病気や治療や将来に対する想いも、聴かせて頂いています。27年1月からは、古谷医師（外科兼任）も加わり、医師2名で週2回緩和ケア専門

を持つ患者家族のケアのことをいいます。しかし、昭和56年以降、国民の死亡原因の第1位が「がん」であり、年々増加していることから、国ががん対策の二環として、緩和ケアを推進してきました。がんを診断されても、治療によって完全治癒や長期生存できる時代になりましたが、その治療の間や、治療後もいろいろな不安や苦しみを抱えていくことも多くそういう方々を支えることも緩和ケアなのです。つまり、「がん」や「がん」以外のあらゆる病気と共に生きている方々をサポートすることが緩和ケアなのです。



古谷 正晴 ふるたに まさはる
副医局長、外科部長、中央手術医長

消化器外科、肝臓外科、胃癌手術、創傷の湿潤治療、
胆管ヘルニア手術

【資格、認定・所属学会】

医学博士

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医

今年から外科と兼任で緩和ケア内科外来を担当することになりました。

がんやそれ以外の治すことが難しい患者の苦しみを和らげ、軽くする援助をしていきたいと思えます。症状を緩和する手術、食べられなくなった時に栄養剤を点滴するための器具（ポートと言います）の埋め込み手術、患者自身が痛みをコントロールできる鎮痛剤の持続注射などを積極的に行って、住み慣れた自宅で手厚いケアを受けて頂けるよう努めていきます。

WHO（世界保健機関）による 緩和ケアの定義（2002年）

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処（治療・処置）を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティー・オブ・ライフ（QOL:生活の質）を改善するアプローチである。



河相 寛 かわい さとる
緩和ケア内科科長、消化器内科部長（兼任）

肝臓、胃・大腸、内視鏡治療、緩和ケア

【資格、認定・所属学会】

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器専門医・指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本超音波医学会所属、日本緩和医療学会所属

消化器内科医として、多くのがん患者に接し、どんなに治療困難な病気でも、最後の最後まであきらめず、できる限りの治療を行ってきました。しかし、同時に治療の限界も痛感し、6年前より緩和ケアを学んできました。病気の治療と症状緩和だけでなく、重い病気をもらった患者とその家族が、どんなことを大事に考え、何を願って、この状況をどう想っているのか、病気と残された人生にどのように向き合おうとされているのかを、聴かせて頂き、患者とその家族のさまざまな気がかりや苦しみを、和らげ、軽くし、無くするよう努めています。

本音や一番の気がかりを話してもらえ相手を選ばれ、どんなことでも、気軽に相談してもらえるよう、日々心がけています。大きく揺れ動く患者と家族の不安や迷いも聴かせて頂きながら、悔いのない治療法や療養場所等の選択ができるようサポートしてゆきます。

「どんな苦しみも緩和できる力が患者自身にある」と知らされる毎日です。「病気になったけど、この病院に来て本当によかった」と、心から実感して頂けるよう、患者自身の力を信じて、そばで支え続けます。一人で悩まないで、ご相談ください。待っています。

外来を担当しています。通院困難な患者には、訪問看護師と協力し、在宅での緩和ケアも行っています。医師、緩和ケア認定看護師、薬剤師も訪問し、24時間体制で患者と家族をサポートしています。

痛

みなどの身体的な苦痛、不安や抑うつ状態などの精神的な苦痛、仕事や家庭やお金などの社会的な苦痛のみならず、「どうせ死ぬのだから、こんなこと何の意味もない」「人に迷惑をかけてまで生きる価値がない」「誰もわかってくれない」「何をやっても虚しい」などのスピリチュアルペイン（無意味、無価値、空虚）など、苦しみは多様で、それぞれが関連していることもあります。これらの苦しみは、重い病気と診断された早期から生じるもので、緩和ケアは、決して終末期からのケアではなく、診断早期から必要なケアなのです。

当院では、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、医事職員などの多くの専門職から構成される緩和ケアチームで協力して、患者と家族のさまざまな苦しみを和らげ、元気になってもらえるよう努めています。

苦痛（トータルペイン）をもたらす背景と主な対象疾患



緩和ケア内科外来、緩和ケアチームの診察は、がんに限らず、すべての疾患、病期を対象としております。



一人ひとりの患者さんに最適な薬剤を提案

緩和ケア内科での薬剤師の仕事は、主に医療用麻薬を安全で効果的に使用するために、時間をかけてしっかりと説明すること、そして一人ひとりの患者さんに最適な薬剤を提案することです。

医師・看護師と一緒に診察に同席させて頂き、患者さんの状態を実際に見てお話を伺うことで、より良い薬剤の提案ができています。

4月からは、薬剤師の在宅訪問を開始しました。在宅でも入院中と同じように薬剤師が服薬指導を行い、安心して在宅療養ができるようにサポートしていけたらと思います。



薬剤課副主任
薬剤師
山崎 由香
やまざき ゆか

患者さん、ご家族に安心し、満足いただけるように

緩和ケア内科が標榜されてから、受診相談や在宅療養相談が増加してきました。他院での治療後、緩和ケアを当院で受けたいと希望される患者さんご家族の相談を受けさせて頂いております。また、緩和ケア内科の診察に同席し、看護の視点からの援助を提供しています。その他、外科、消化器内科、日帰り治療室、透析室、病棟など、緩和ケアが必要な患者さんのケアのサポートや、訪問看護ステーションの同行訪問もしています。今年は、射水市内だけでなく、富山市の訪問看護ステーションとも協働する機会がありました。

私自身がケアを実践するだけでなく、看護師や他の職種による緩和ケアチームの教育活動を行うことにより、真生会の緩和ケアのレベルアップを目指し、患者さん、ご家族に安心し、満足していただける病院でありたいと思っています。緩和ケアに関するご相談は、遠慮せずにお知らせいただければと思います。（各科の職員にお申し出ください）



緩和ケア内科 副科長
緩和ケア認定看護師
長久 栄子
ながひさ えいこ

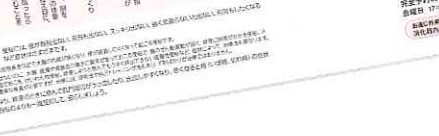
ホームページ

<http://www.shinseikai.jp>

使いやすく、見やすく、わかりやすいホームページをめざして、病院ホームページを全面リニューアルしました。
診療科のご案内、採用情報、イベント情報など、日々最新の情報をお届けできるよう努めています。
ぜひ一度ご覧ください。



医療関係者の方はこちらをご覧ください。
スタッフ(医師・看護師)の方へ



和顔愛語

(真生会富山病院より)

真生会富山病院をより身近に感じていただけるよう、患者さん、地域の皆さんと結ぶコミュニケーションツールとして、当院における最近の治療法や医療の知識を紹介しているほか、イベントやレポートなど、充実した内容で発行しています。

医療の情報発信。

真生会富山病院では、医療に関する情報をさまざまな形で発信しております。
高度で良質な医療の提供をはじめ、地域の皆さんの健康維持や、予防医学、医療知識向上のお手伝いをさせていただくことも、私たちの大切な使命と考えています。

みなさまからの

ご意見箱

ご意見

外来患者(ライセンダー)の方より

待ち時間が長いです。
診察室に呼ばれる時、次の順番の患者さんに早目に声をかけて、診察室の前に来てもらっているとか、歩行に時間がかかるのなら、早目に声をかけて移動してもらおうとか、ロスタイムを無くせばもう少し時短になると思いました。ぜひご検討を。

お答え

この度は貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

現在、待ち時間対策チームで検討しており、できることから実行する体制をとっています。
まずは、番号が表示されたら、診察室の近くにきていただけるよう患者さんにも協力を依頼し、適宜アナウンスや声かけを行うようにいたしました。



健康セミナー

年1回開催
地域の皆さんが病気や医療について、知識を深め、健康維持、増進に役立てていただけるよう健康セミナーを開催しております。入場無料。
お気軽にご参加ください。



真生会富山病院 スマイルリクエスト

(エフエムいみず公開生放送)

視聴者の関心が高いテーマを中心に、当院アトリウムからお送りする公開生放送! 当院スタッフが出演し、HOTなトークとリクエスト曲を交えた60分間の公開生放送です。



真生会富山病院では、病院内のコミュニティスペース（南館1階 渡り廊下）を利用したギャラリーを開設しています。

2007年から毎年、大阪市立美術館で開催されるIFA国際美術協会展に出品し、神戸市長杯、大阪府知事賞など、数々の賞を受賞。富山人として、富山の魅力を紹介したいとの願いを込め、富山を題材にした絵を出展していると話す上田さん。個展、ロビー展なども数多く開催している。

最初は墨や油を使って写実的な絵を描いていたが、さまざまな視点角度から表現するポール・セザンヌの絵の影響を受け、人生を振り返りの記憶、内からくる情熱を表現する手法として、抽象画へとごく自然に変わっていった。

人と人との出会いを大切にして、おかげさまで富山をアピールした活力ある絵を描き続けたいと、ひととき特別な存在感を放っている。

現在、IFA国際美術協会会友

●作品展示を希望される方のお問い合わせは
TEL0766-52-2156 担当：福田

ぎやらりー

院内コミュニティスペース

ちょっと一言

安心して受診していただくために

医事課 いながき 稲垣 匡裕



医事課の代表的な業務は、受付です。総合受付や各科受付で患者さんの対応にあたっています。総合受付には、診察を受けられる方、入院される方、各種証明書希望される方など、毎日多くの方がいらつやいます。

特に、月初めの保険証確認の際は混雑し、大変申し訳なく思います。正確でスムーズな保険証確認を心がけ、病院の「顔」であるという自覚のもと、笑顔で接していきたいと思っています。

出張講座

随時受付中

（詳しくはホームページをご覧ください）

当院医療スタッフが出張して講演いたします。皆さまが知りたい、聞きたい、体験したい講座をお申し込みください。



（講座例）

- 脳梗塞の治療と予防
- 心を楽にするコツ
- 今ドキの小児科
- 加齢で起こる目の病気

● お問い合わせ
真生会富山病院 地域医療連携室
TEL0766-52-1556（受付時間9時～17時）



患者さん
地域の皆さまに
よりよい情報を
届けるために。



地域連携だより

年3回発行
地域の医療機関のみならずとの連携をより深めるため、真生会富山病院の情報を発信しています。



健康カレンダー

北日本新聞折込により、射水市内の各家庭にお届けしています。生活習慣病や流行の疾病、予防など、関心の高いテーマを中心に、市民の皆さま向けの医療の知識、役立つ情報をお届けしています。



おはだ（真生会皮膚科通信）

皮膚科医長 花川博義医師が皮膚の病気についてわかりやすく、患者さんに役立つ話を掲載しています。



医学講座

毎月1回開催
院内の専門医などが講師を務め、病気と医療についてわかりやすく解説し、病気の治療と予防について知識を深めていただくために開催しています。

診療案内

診療科

内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、麻酔科、心療内科、精神科、神経内科、放射線科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科・緩和ケア内科、真生会デンタルクリニック(歯科)

受付・診療時間

(7:30～ 午前のみ整理券配付)
【午前外来】平日・土曜日 ※整理券配布7:30～
受付8:00～11:30 (各科窓口8:30～ 診療9:00～)

【昼外来】アイセンター(眼科)のみ

平日 火・木曜日のみの受付です。

受付13:30～16:00(診療は14:00～)

【夕方外来】平日16:00～19:00

(各科窓口16:30～診療17:00)

※皮膚科と小児科の窓口受付は16:15から、診療は16:30から行います。

※内科を除き、火・木の夕方は休診のため、日直医が対応いたします。

※耳鼻咽喉科は火・金の午前も休診です。

【休診日】日曜日、祝日、土曜日午後

※休診時間帯は当番医師が待機しております。
正面玄関の解錠時間は7:30です。

全科往診・在宅診療・人工透析・人間ドック・眼科ドック

24時間救急診療

真生会富山病院では、診療時間外の急な病気にに対し、年中無休で24時間日当直医が対応しております。

平日 19:00から9:00まで

土曜日 12:30から

日・祝日 救急診療24時間対応

●救急診療受付電話 ☎0766-52-2156

※来院する前になるべくお電話を。

※保険証は忘れずお持ちください。

保険証は、毎月提示をお願いしています。
必ずご持参ください。

院外処方せん

当院では原則として「院外処方」としております。
当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局でお薬をお受けとください。

セカンドオピニオン外来 完全予約制

病気になる疑問や、病院での診断、治療方針について、他の専門医の意見を聞いてみたい方は、気軽に相談ください。

●お申し込み・お問い合わせは

TEL0766-52-1556 担当:地域医療連携室 阿部

専門外来

完全予約制

特定の臓器や病気、症状について専門的な診断・治療をする外来です。予約制できめ細かな医療サービスの提供を心がけています。

■血液・免疫外来(火曜昼外来)

■透析外来(火曜昼外来)

■お通じ外来(便秘専門外来)(金曜17:00～19:00)

■漢方医学外来(火曜昼外来)

■禁煙外来

■糖尿病外来(火曜昼外来)

■神経外来(火曜昼外来)

■ピロリ外来(火曜午前)

■もの忘れ外来(金曜昼外来)

●お申し込み・お問い合わせは

TEL0766-52-6969(内科直通)

眼科専門外来

●お申し込み・お問い合わせは

TEL0766-52-6979(アイセンター直通)

FAX0766-52-6059



メモを取るなど真剣に聞き入るうち、看護師や患者さんによるパネルディスカッションもあり、来場者の方々はとても満足された様子でした。

元気な胃を取り戻そう
ピロリ菌の専門外来
【新設】ピロリ外来
ピロリ菌は慢性胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍などを引き起こす細菌で日本人の2人に1人、50歳以上では50～60%が感染していると考えられ、感染により萎縮性胃炎を発症したり、一部は胃がんへ進行することがあり、疾患や再発予防には菌の除去が重要となります。2013年2月にピロリ菌治療の保険適用範囲が広がり、胃炎でも保険を利用した少ない負担で治療ができるようになりました。

内視鏡検査で胃炎が確認され、ピロリ菌検査で陽性になれば、除菌治療が受けられます。真生会富山病院では、昨年よりピロリ菌の専門外来(火曜午前)を開始しました。ピロリ菌に感染すると、感染しない人と比べて胃がんの発症リスクが5倍以上高まるといわれています。ピロリ菌除去後は胃がんの発症リスクは減っていきます。ピロリ菌を調べてほしい方や除菌治療を受けたい方は、まず消化器内科にご相談ください。

真生会富山病院

第3回 健康セミナー

第3回健康セミナーは、皮膚科医長の花川博義医師が、「笑顔になれる」お肌の健康」をテーマに、アイザック小杉文化ホールで、アトピー性皮膚炎と美肌について講演しました。歌も交えた分かりやすい内容に



私のおすすめSPOT



外来看護助手
まつなが ゆかり
松永 紫

お客様の好みに合わせてくれる「ジビエ料理」の隠れ家。

高岡にあるフレンチの一軒家レストラン。内装は大きな1枚板のテーブル、暖炉などぬくもりのある空間です。ディナーのコース料理を頂きましたが、お肉もお魚もソースとの相性抜群。パンも自家製で、見た目も美しく前菜からデザートまですべて美味しかったです。ワインの種類も豊富で好みや予算に応じてセレクトしてくれます。サービスの気配りも絶妙で、帰りはご夫婦で見送ってください最後まで気分よく過ごせました。誕生日や記念日など特別な日におすすめです。

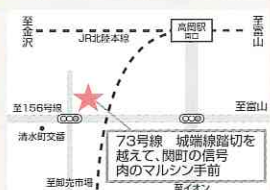


「フランス貴族の伝統食ジビエ料理」の醍醐味

Salon d'Estaminet

サロン エスタミネ
高岡市閑野55-1 Tel 0766-26-4838

まさに食通をうならせる「ジビエ料理」。コース料理での会食は2～10名様まで、パーティー等は、好みに合った予算と内容でメニューを組み立て、貸切りもOK。見事に下処理されたジビエは、臭み、脂っこさもなく、肉そのものの旨みがたっぷりつまっている。素材だけでなく料理人の腕あつての「ジビエ料理」が味わえます。



●営業時間/12:00～14:00
18:00～
●定休日/月曜日
●駐車場あります